



住所

〒547-0022 大阪市平野区瓜破東 2-5-78

連絡先

☎ 06-6708-0108 📠 06-6799-0359

校長

新井 寿栄

開校

昭和 46 年

URL

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751734>

校訓

「自ら学ぶ子」

教育目標

「心豊かで、たくましく生きる子」の育成

学校教育の重点(めざす子ども像)

- ☆考えて行動する子
- ☆思いやりのある子
- ☆命を大切に子

教育方針

「生きる力」をはぐくむ教育活動を推進する

運営に関する計画

【概要】

子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現
心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より10%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)7割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より10ポイント減少させる。

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、30%以上にする。

○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度より4ポイント向上させる。

※全国平均を1とした時の割合

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を65%以上にする。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標(小・中学校)

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を、80%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、87.5%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標(小・中学校)

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対大阪市比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「理科の学習は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

○小学校経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を、30%以上にする

○小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、65%以上にする

校長先生からのメッセージ

本校ではく⑤たえ ⑩そうを ⑪ろがれ ⑫ッツで～子どもも大人もチームうりひが～を合言葉に、令和6年度から研究主題を「一人ひとりが自主的、実践的な活動に取り組む特別活動の創造～かがやけ！みんなが主人公～」とし、【特別活動】の研究に取り組んでいます。学級活動では、活発な話し合い活動が行われており、そこで身につけた力を他教科・領域に活かせるようになってきています。また、児童会活動では、たてわり班での活動を中心とした異年齢交流により、人を思いやるやさしい心が育っています。4年生から始まるクラブ活動では、異年齢集団で協力して活動するよさを味わっています。また、同じく4年生から始まる委員会活動では、学校全体のために意欲的に活動しようとする姿が見られます。児童のウェルビーイングのために、教職員一同頑張っています。校長 新井 寿栄

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率 (%)
61	55	

●結果と概要／

本校の令和5年度結果と比較すると、国語科の平均正答率の対全国比は0.89ポイントから0.9ポイントに向上、対全国差は-7.2ポイントから-6.7ポイントに上がった。児童質問紙調査においては、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的回答が75ポイントから84.8ポイントと大きく向上している。

●取組の成果と課題／

「国語」選択式問題では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみるものが大阪府・全国の正答率を超える結果であった。また、記述式問題では、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみるものなどで、大阪府・全国の正答率を超える結果であった。

「算数」選択式問題では、問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみるものが全国の正答率を超える結果であった。短答式問題では、示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみるもので全国の正答率を超える結果であった。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラ ン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	17.21	17.43	34.36	34.64	36.64	9.47	151.07	19.14	49.79
女子	15.00	16.50	35.95	30.65	31.55	10.43	136.15	11.20	47.30

●結果と概要／

測定項目8項目中、男子は4項目が全国・大阪市の結果を上回ったが、女子は全項目において下回った。体力合計点は男女とも全国・大阪市の結果を下回る結果となった。

児童質問紙「体育の授業は楽しいですか」の項目においては、肯定的回答が男子100%、女子85%という結果になっている。また「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」の項目においては、肯定的回答が男子92.9%、女子100%という結果になっている。このように体育科の学習に取り組む意欲は非常に高い。一方、学習を通して何かができるようになりたいという点や、自分の記録に関心をもち、記録更新のための努力や工夫を重ねていこうという点については関心が低い現状がある。

●取組の成果と課題／

本校では、令和6年度より1年生から体育専科と担任のT.T体制で体育科の授業を進めている。専科を採り入れたことで、系統立てた体育科学習が進められており、どの学年の児童も体育科の学習を楽しみにしている。

学校全体として、学校保健の観点からも「姿勢」について意識する週間を設けたり、「びよんびよんタイム(なわとび)」や「らんらんタイム(かけ足)」を計画的に実施したりしている。また、「らんらんタイム」での成果を発揮する場として地域の『瓜破霊園』をお借りしての「かけ足大会」を実施している。

さらに、各種アスリートによる出前授業等を積極的に活用し、児童が本物に触れる体験を通して、スポーツの楽しさを味わえるようにしている。

学校の特徴

学校経営方針のもと、「チーム瓜破東」として、全教職員で組織的に教育活動に取り組んでいます。保護者、地域の方々をはじめ、児童にかかわる全ての皆さまが、児童一人ひとりの成長のために協力してくださっています。

読書活動の充実

- ◆基礎学力の確かな土台を築くために
- 計画的な読書活動



- ・読書計画の作成
- ・朝の読書活動
- ・読書意欲の喚起(読書ノート、読書の木等)

地域との交流

- ◆豊かな社会性を身につけるために

本物に触れる体験

- ◆キャリア教育の充実のために



あいさつの励行

- ◆豊かな社会性を身につけるために
- 学習・生活規律の確立
- ・徹底した「あいさつ」指導
 - 登下校(地域・校内)-
 - 授業の始まりと終わり-
 - ていねいな言葉づかい-



放課後ステップアップ

- ◆基礎学力の確かな土台を築くために
- 一人学びの場の提供



たてわり活動の充実

- ◆心豊かな、思いやりの心を育てるために
- 年間を通じたたてわり班による活動の実施



- ・隔週の集会活動
- ・全校遠足でのたてわり活動
- ・ペア学年交流の工夫

びよんびよんタイム(なわとび週間)

- ◆豊かな社会性を身につけるために
- 体力づくり

